

写真提供：宮城自治会



上原敦自治会長



勇壮なエイサー



幕開けのかぎやで風



三線演奏を披露



DANCE TAKARAの軽快なダンス



にぎわいを見せた祭り会場

大にぎわい夏祭り

宮城自治会

宮城自治会の『2025年夏まつり』が8月23日、宮城ウタキで開催されました。

同自治会の夏の行事としては、新型コロナウイルス以来中断を余儀なくしていましたが、昨年はそれに代わる盆踊りが開催。こしは7月から準備を始め、8月からは草刈りの環境整備、1週間前には舞台装飾、会場・テント設営と多くの会員が汗を流して本番を迎えました。

舞台は、宮城三線サークル地謡、琉舞サークルのかぎやで風で幕開け。ふくぎの森保育園児のハワイアンフラ、DANCE TAKARAの軽快なダンス、照屋里佳さんのピアノ演奏などサークルに限らず児童や若者も積極的に出演。『わしたうるく歴史写真映写会』では、上原俊男さんの解説で懐かしい小祿の風景がスクリーンに写しだされました。

後半も、楽器合奏、K-POPダンス、エイサーとつづき全員参加のカチャーシーで閉幕。上原敦自治会長は「自治会員に限らず、多くの地域の皆さんにご来場いただきうれしく思います。実行委員の皆さんをはじめ、行事を支えていただいた皆さまの力が結集し、宮城の地域力が盛り上がりましたこと大変感謝します」と目を細めていました。

読者がつくる地域新聞
おはこんにちは

発行所/琉球新報
高良販売店

〒901-0153
那覇市宇栄原6-5-5
赤嶺アパート102
098(858)0035

楽しい夏の1日

礼邦学園

礼邦学園5歳児クラスの『わくわくデー』が8月18日、同保育園をスタートに各所で実施されました。

体育着で登園してきた園児を前に林孝子園長は「きょうは1日、皆で仲良く過ごしましょうね」とあいさつ。注意事項をしっかりと胸に刻んだ子どもたちは、園のマイクロバスに乗り込んで、はじめに県立博物館を目指しました。

博物館のふれあい体験室で、様々な沖縄に触れた子どもたちは、次に首里にある森の家みんなへ移動。先生が提示する画像に写る植物や生き物を発見する『森の司令ゲーム』に挑戦し、さまざまな生き物に遭遇しました。

お弁当を済ませた子どもたちは、大満足のうちに帰園。おやつ後にグループに分かれて、夕食にいただくカレーライスの野菜切りに挑戦しました。

夕食までは、プールあそび、スイカ割りとおもしろいのが満載。カレーライスを満喫した後は、メインのキャンプファイヤーで歌やダンス、なぞなぞ、花火で楽しい時間を過ごしました。



最後はキャンプファイヤーでお楽しみ



「きもちいい」



「見つけたよ」



沖縄を知ろう



森の家みんなであそぶ



「見つけるぞ! オー」



輪になってお弁当タイム



「ニンジン切りました」



プールあそびで大はしゃぎ



カレーをいただく



歌やダンス、なぞなぞを楽しむ

写真提供：礼邦学園